# 本市のコミュニティ施策…いこまのミライのために… 生駒市版「まちのえき」を創ろう!





# 目次

- 1. 歩いて行ける「まちのえき(=複合型コミュニティ)」とは?
- 2.「まちのえき」が必要な社会的背景
- 3.「まちのえき」の具体的な取組事例
- 4. 「まちのえき」設置に向けた支援

# 1. 歩いて行ける「まちのえき」とは?

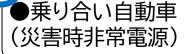
# 歩いて行ける「まちのえき」のイメージ

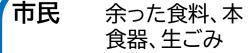


#### 地域コミュニティの場



#### 健康·文化







#### 環境・3R(コミステ)

- ●資源回収·分別
- ●生ごみを堆肥化
- ●もったいない食器市
- ●フリーマーケット
- ●家で余った食料

#### ●万歩休場, 赵フℲ

- ●百歳体操・軽スポーツ
- ●まちかど図書室
- ●音楽、文化
- ●出前講座
- ●移動保健室

#### 健室 コミュニケーション

- ●地域食堂·Café
- ●地域サロン・お茶会

公園や自宅の緑化、栽培などに活用



#### 買物·食事·生活支援



- ■スーパーの移動販売
- ●キッチンカー
- ●ゴミ出し・草刈り支援



フードドライブ

#### 子育で・女性活躍

- ●こども・地域食堂→持ち帰り
- ●託児·小規模保育
- ●コワーキング・テレワーク
- ●コミュニティでの創業
- ●公園を活用した子育ての場
- ●みんなのプール







地産地消、移動支援、地域活性化を、地域の協創で実現!

## 「まちのえき」=複合型コミュニティとは?

いつ (When?)

:日常的(定期的)に、

どこで (Where?)

:歩いていける自治会館や公園などの拠点で、

誰が(Who?)

:地域住民を中心としつつ、外部の支援者とも連携し、

何を (What?)

:地域を楽しい場所とし、結果として地域課題の解決につなが

る福祉・環境・文化・地産地消などの活動を、

どのように(How?)

:既存の活動と新規の活動とを組み合わせ、また、支援する人

とされる人を固定化せず、すべての人が役割を持ちながら、

<mark>- 結果 |</mark>:絶えず様々なサービスが自立的に提供され、人的交流が生まれるコミュニティ

#### 基本的な考え方

- (1)課題対応、利便性の向上
- (2)一人も取り残さないために、誰一人お客さんにしない

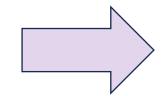
### 誰もが歩いて行ける場所に「まちのえき」を!

生駒市で全ての自治会館に「まちのえき」ができれば、

### 歩いて10分以内に「まちのえき」がある市民は約90%

R7.9月時点 16ヵ所20自治会で設置 +

複数自治会と調整中



R8年度中に 50ヵ所の設置を目標

# 2. 「まちのえき」が必要な社会的な背景

### (1) 公共交通・ライドシェアより効果的な移動支援

### 高齢化の現状① (2025.9.14 総務省発表)

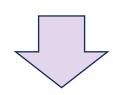
- 日本人の平均寿命は、男性 81.09歳 女性 87.13歳
- 65歳以上の高齢者人口は、3,619万人(総人口比 29.4% 過去最高)
- 75歳以上は、2,124万人(総人口比 17.2%)
- 80歳以上は、1,289万人(総人口比 10.5%)10人に1人以上が80歳
- 2050年には、65歳以上の高齢者人口は37.1%になると見込まれる
- 人口4千万人以上の38か国について、65歳以上人口の割合を比較すると、 日本(29.4%)が最も高く、次いでイタリア(25.1%)、ドイツ(23.7%) フランス(22.5%)となっている。

### 高齢化の現状②

#### 65歳以上の一人暮らし急増

- 昭和55年 男性 4.3%、女性11.2%
- · 令和 2年 男性15.0%、女性22.1%

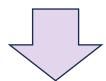
人生100年時 代を喜べない 一人暮らし世帯 の急増



「認知症」から「移動支援、買い物・医療難民」へ「免許は返納したいが、返納したら生きていけない」

高齢者の運転事故が社会問題に

### 移動手段の確保の難しさ(買い物支援の切り札になっていない)



- ・ 公共交通バス、デマンド交通(利用者減少、バス路線以外の市民の理解)
- ライドシェア、グリーンスローモビリティ等

### 問いの再構築

交通手段の多様化と同時に、「歩いて行ける」場所に生活機能、 コミュニケーションの場を創る方が効果的ではないか?

### (2) 核家族化を補う地域での子育ての場

- <少子化の現状>
- 2024年出生数: 68万6,061人(前年比4万1,227人減:過去最少)
- 合計特殊出生率: 1.15(前年は1.20:過去最低) ⇒ さらに減少見込み
- 予定・理想の子どもの数「1人以下」は6.6%、実際は27.3%
- ・予定・理想と現実の乖離の理由
  - ◆「子育てや教育にお金がかかりすぎるから(52.6%)」
  - ◆「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから(23.0%)」
- ・他方、核家族化、共働き世帯増加など、家族の子育て機能の低下



現代社会において、子育て世帯の負担軽減には、子育て世代同士がつながる場、世帯だけでなく「地域で育児」できる場・機会が不可欠

### (3) 活用されていない自治会館、公園を活かす

- ・自治会加入率は、平成22年に78.0%だったものが、コロナ禍なども経て、令和2年には71.7%と大きく減少(負担を超える価値を提供しきれていない)※本市の自治会加入率 H22:82.7%→R7:73.2%
- ・高齢者の利用に偏る自治会館
- ・利用規制・制限だらけで活用できない公園の増加



- 住民ニーズに応える価値を生み、多様な世代が集まる自治会館
- 住民主体の多様な活用が実現する公園
  - ⇒「歩いて行ける」場所にある資産を最大限活かす!

# 3.「まちのえき」の具体的な取組事例

## (1)まちのスポーツジム(運動する)

### <背景>

- ・急速な高齢化、健康寿命の延伸
- ・ 障がい者、子ども達にも楽しいスポーツの普及

### <概要>

- ・市民主体の体操教室で健康づくり
- ・ボッチャ、モルック、グラウンドゴルフなど



- 頭と体を同時に使うことによる高い健康増進効果
- モルック・ボッチャなどは全世代、障がい者も参加可能
- 集客力の高さを活かせる

## (2)まちのショッピングセンター(買う)

- <背景>
- ・買い物支援が必要な市民の増加
- 多様な販売方法への転換を模索する事業者
- <概要>
- ・400種類の商品を扱う移動スーパー
- ・地元農家の朝どれ野菜販売
- 出張駄菓子屋
- ・大手小売事業者の実証事業(赤ちゃん本舗、花王ほか)

- 近くで買える(高齢者の移動支援、子育て世帯の負担軽減)
- 野菜などが安い、フードロス対策など



# (3) まちの食堂・喫茶店(食べる)

### <背景>

- ・高齢者夫婦や一人暮らし高齢者の世帯の増加
- ・食事の提供で創業を考える人の増加(飲食店・主婦など)
- ・要介護や死亡リスクが高くなる「低栄養傾向」の高齢者の増加
- ・1日3食が辛い子育て世帯

### <概要>

- ・自治会館での地域食堂、軽食サロン
- キッチンカーの出店

- ・安い、おいしい、楽しい、みんなに役割
- ・ 顔の見える関係、外出のきっかけ



## (4)まちの図書館(読む)

### <背景>

- 子どもをはじめとする「読書離れ」
- ・公共図書館の増加(20年間で600館以上、約24%増加)、集客力の高さ
- コロナ禍に、自宅の本や漫画を断捨離したいというニーズ

### <概要>

- ・自治会館にDIYで本棚を作成
- ・各世帯から本・漫画・絵本・DVDなどの寄付(断捨離)
- ・まちの図書室での貸し出し、ビブリオ、読み聞かせなど



- 通いやすい、男の人の出番、公立図書館との連携
- ・断捨離、柔軟な運用(漫画、DVD、お茶)、いろんな本の企画

# (5)まちの学校・塾(学ぶ)

- <背景>
- 「協働的な学び」の必要性
- 子ども同士が教え合い、大人と対話する中で、より深い学びを得、自信をつける
- <概要>
- 自習室
- 出前授業
- 放課後子ども教室
- ・ 学習塾、宿題合宿(斜めの関係から本格的な塾指導まで)
- ・みんなのセミナー
- <効果·意義>
- 多様な学びの場、自律的で双方向の学び、地域での学び



# (6)まちのアトリエ・スタジオ (演じる・観る)

### <背景>

- ・自治会文化祭が復活・増加
- ・コロナ禍で文化・芸術に再注目 (活発な制作、人に見てもらいたい)

### <概要>

- ・自治会館で、写真展、絵画展、書展、文芸展…まちのアトリエ
- 一本のギター、エレクトーン、ストリートピアノ…まちのスタジオ
- ・カラオケも立派な文化活動

### <効果·意義>

・高い集客力、新しい生きがいの発見、観るから制作する側へ



# (7)まちの遊び場(遊ぶ)

#### <背景>

- 幼児期に外遊びをよくしていた児童は、体力も高い
- ・低年齢層(0歳から満9歳)の子どもの74.4%がインターネットを利用

#### <概要>

- ・公園をWSで再生、活用(1人当たり公園面積は増加、禁止事項の解きほぐし)
  - ▶鬼ごっこ、缶蹴り、縄跳び、ボール遊び、みんなのプール・ストライダーレース
  - ▶祭り、焚火・BBQ・焼き芋会、キャンプ
- ・ 自治会館でゲーム(子ども)、健康麻雀(シニア)、ボードゲーム(多世代)

- ・スマホ禁止・制限でなく、スマホ以外の面白さの提供
- ・世代を超えて楽しむ、女性の麻雀ブーム
- ・公園管理を地元で



# (8)まちの農場 (耕す、栽培する)

### <背景>

- ・耕作放棄地面積:平成7年に24.4万ha、平成27年に42.3万ha
- ・ガーデニング・家庭菜園の市場規模は、コロナ禍もあり、2365億円と堅調

### <概要>

- ・農家の指導により、農地をみんなで開拓・管理・活用
- ・収穫祭、焼き芋、BBQ、芋煮会、ピザ窯、BBQプレートのWS

- ・耕作放棄地の解消と農地の有効活用
- ・収益確保、まちのえきの持続可能性
- 子育て世代の参加
- ・地ビール企画・マルシェとの連携など発展可能性高い



## (9)まちのリサイクルステーション(循環する)

### <背景>

- リサイクルの不徹底(燃えるゴミ中、古紙類8.9%、プラ製容器包装8%、 食べ残し17.8%(手つかずが8.5%))
- ・コロナ禍の断捨離ブーム
- <概要>
- ・リサイクル品をいつでも出せる基地、壊れたおもちゃや家電の修理
- ・子ども服やおもちゃ・本などのリユース・交換の場、フードドライブ
- ・フリーマーケット
- ・生ごみ回収、量り売り
- ・メルカリ講座、メルカリを活用した断捨離促進
- <効果·意義>
- 3Rの推進、モノを通じた交流、販売による収益確保

## (10)まちの保健室・病院(診る・癒す)

### <背景>

高齢者の外出希望先2トップ「買い物」「病院」(買い物:80.7%、通院:45.2%、趣味・社会活動:44.6%)



#### <概要>

- ・「まちの保健室」:健康体操、体力測定、健康相談・指導、介護者の支援
- 「まちの病院・診療所」: オンライン診療の都市部への対象拡大、在宅だけでなく公民館なども利用可へ

- 健康增進、医療費削減
- ・身近な場所での受診、安心

## (11)まちの保育園(育てる)

### <背景>

- ・子どもを育てやすい国だと感じる日本人は61.1%(他国より低い)
- 「地域で子育てを助けてもらえるから」「社会全体に理解があるから」と答え た人も減少

#### <概要>

- 育児相談
- ・子育て世帯間の子育てシェア
- ・地域での一時預かり、「家庭的保育事業」

#### <効果·意義>

• 子育て世帯の負担軽減、子どもの多様な学び、地域の活性化

# (12)まちのオフィス(働く)

### <背景>

- ・企業のテレワークOK:51.2%、×:37.7%
- ・自宅83.7%、シェアオフィス約10% 「家族に気兼ね」「職場以外の人との交流や人脈」「買い物と合わせて利用」「自宅にこもらないように」など

#### <概要>

- 「まちのオフィス」は、自治会館の空き室利用したシェアオフィス
  - → 近い、安い、子ども連れOK

### <効果·意義>

• 現役世代と地域との接点、現役世代にも地域活動にもプラス

## (13)まちの避難所・交番(守る)

### <背景>

- 災害が増えているが、指定避難所まで歩いて行けない
- ・犯罪件数や交通事故(特に高齢者)の再増加

### <概要>

- ・電気自動車(EV)を自治会館につないで簡易避難所に
- ・平時、EVは青パト・助け合い交通にも活用
- ・特殊詐欺や交通安全の啓発(1人暮らしの被害リスク軽減)

- コミュニケーションと地域力で犯罪や事故を減らす
- ・ 平時のつながりが災害時に生きる、近場で安全・安心を確保



# (14)まちのマーケット・マルシェ(楽しむ)

- 「まちのえき」の取組の全てが集結
- ・現役世代の集客力が高い
- ・公園活用の有効な方法
- まちづくりへの参加のステップアップ





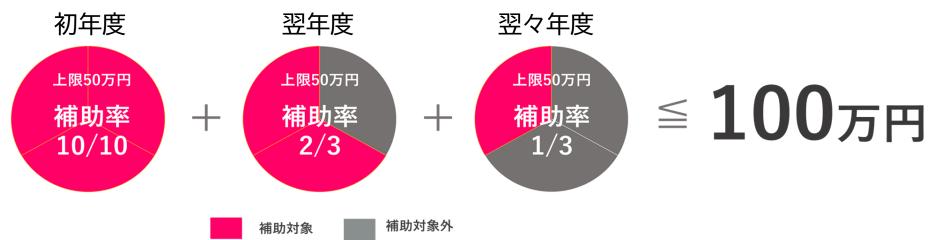
いこまちマーケット部によるマルシェ開催支援

- 「住みやすさ」だけでなく、「働きやすさ・多様な働き方」
- 暮らしたいまちは自分で創る!

# 4. 「まちのえき」設置に向けて市の支援

### 設置に向けたスタートアップ等支援

- <補助金の交付>
- 各年度上限50万円(補助率:初年度10/10、2年目2/3、3年目1/3)
- 初年度事業の効果が大きい、継続により大きな効果が見込まれると判断される場合は、最大3年・補助金額合計100万円まで支援



<人的支援>

事業計画策定や運営支援のため、中間支援組織や市の職員などが適宜伴走支援を積極的に実施

### 地域課題・二一ズ調査(地域アンケート実施)

「まちのえき」(複合型コミュニティづくり)を進めたい、希望される自治会は、事前に地域内のニーズの把握の為、アンケートの実施し、その調査を分析した上、地域コミュニティ推進課職員等と一緒に事業計画を策定。

地域の多様な世代が参加できる事業を一緒に考えます!













### 民間事業者と自治会を繋ぎ活動を支援①

花王グループ【いきいき講座】

(株) 1 plus 1 【キッチンカー】





#### 出張型サービス

生駒市の皆様のキレイライフスタイルを実現する、 美・健康・暮らしをサポートする5つの講座。 講座1回あたり、30分~60分。

#### ネットワーク運営

- ・事業者の仲介ネットワーク運営
- ・自社のキッチンカー(サービス、取扱品)例)キーマカレー、ホットドック、フライドポテト、 わたあめ 等

## 民間事業者と自治会を繋ぎ活動を支援②

いこま応援マルシェ【キッチンカー】

近商ストアー「とくし丸」【食品等の販売】





#### 食品·食材

(代表)フェリスクレープ (クレープ、かき氷、ドリンク)

- キッチンカー手配
- ・物販、ハンドメイド当の手配

#### 食品·食材

お刺身、寿司、お肉、野菜、果物、パン・お菓子、日用品など。 軽トラにたっぷり400品目! 見て買えて、注文もできる移動スーパーです!

### 民間事業者と自治会を繋ぎ活動を支援③

㈱赤ちゃん本舗【キッズ用品販売】

㈱ヤサカ宅配センター【健康測定】





#### 衣類·日用品

マタニティ・ベビー・キッズ用品(雑貨や消耗品が中心) 価格は定価での販売となります。 事前に指定頂ければ、その商品を準備します。

#### 食品·食材

- •骨密度測定
- •体成分、筋肉量測定
- ・明治、エルビー飲料の宅配サービス
- ・ご当地グルメチラシ商品の宅配サービス

## 庁内各課が「まちのえき」を支援①



●図書館:出張図書館・読み聞かせ

## 庁内各課が「まちのえき」を支援②



●農林課: 地元農家による野菜市

## 庁内各課が「まちのえき」を支援③



●市民活動推進センター:「おたすけ帳」出前講座

●地域包括ケア推進課:まちの保健室

「おたすけ帳」の一覧は こちらからも確認できます→



# 複合型コミュニティ(まちのえき)

お問い合わせは、

地域コミュニティ推進課へ!